

## 長野県長野市「信州児童文学会」

信州児童文学会顧問：高橋忠治

1) 東日本大震災によって、活動に何か影響がありましたか？

東日本大震災に対しましては、長野県の場合、長野県北部に位置する栄村が、3月12日早朝震度6強、M6.7の地震に襲われました。家屋が倒壊し、交通網は寸断され、水道・電気の供給が止まるなどその被害は大きく、地域住民の多くは避難生活をし、5月も半ばになってようやく仮設住宅への目どがついてきたところです。

山間地で小学校児童は全校で86人、入学式は4月中旬に行われ新入生は12人でした。

2) 震災地域への支援について、既に行なったことや今後の予定、やりたいことなどがありましたら、お書きください。

信州児童文学会としては、6月初旬に発行する、少年少女の雑誌『とうげの旗』（信州児童文学会の機関誌）を全校児童にプレゼントする予定です。これは、『とうげの旗』最新号で、159号です。

プレゼントの仕方などについては、受け入れてくださる学校側と相談して進めたいと思っています。